

オダノブ なんだっけ?

ODANOBU NANDAKKE

ゲームの概要

あれの名前が思い出せないオダノブは、モヤモヤしています。家臣たちはオダノブからのヒントを頼りに、モヤモヤを晴らそうとがんばります。

内容物

- ジャンルカード 30枚
- まにゅある (本紙) 2枚
- オダノブカード 1枚
- 堪忍袋ボード 1枚
- 家臣カード 6枚
- 堪忍袋マーカー 1つ
- 判定カード 6枚
- ペン 1本

準備

ジャンルの限定

誰でも答えにたどり着けるように、ジャンルカードを絞ります。すべてのジャンルカードを全員で見ながら、苦手なジャンルを取り除いて下さい。



※「家紋入りジャンルカード」は、比較的簡単なジャンルとなっております。

取り除いたカードは伏せて、ゲームの「ほうび」として使います。「堪忍袋ボード」を置いて、ほうびスペースに見栄え良く「ほうび」を配置して下さい。

オダノブを決める

プレイヤーの中でもっとも腹黒い人がオダノブ役になります。配役が決まったら、オダノブ役には「オダノブカード」を、家臣役には「家臣カード」「判定カード」を、一枚ずつ渡しましょう。



出題

ジャンルを選ぶ

オダノブは「ジャンルカード」から好きなカードを1枚選びましょう。選んだジャンルカードを堪忍袋ボードに置いて下さい。



「答え」と「逆鱗」

選んだ「ジャンル」に沿った「答え」と、家臣をハメるための「逆鱗」を考えて、外箱の裏に、家臣に見られないように書きましょう。



「逆鱗」は、ついつい言ってしまうような言葉にしておくのがオススメです。

ですが、あまりにすぐゲームが終わってしまうようなものを選ぶと最後の勝利判定に響きます。何事も程々が大事です。

問答

質問と回答

家臣たちはオダノブに色々と質問し、「答え」のヒントを出してもらいましょう。ただし、ルールが5つあります。

- オダノブは、ウソを答えてはいけない
- オダノブは、堪忍袋を自由に操作する
- 家臣は、外国語を使ってはならない
- 家臣は、逆鱗を口にしてはならない
- 家臣は、堪忍袋 MAX の前に正解する

質問する順番は決まっていません。

積極的に「おそれながら」と手を挙げ、オダノブに「申せ」と許可を貰えたら質問または答えを言いましょう。

*家臣は答えを言うときに限り、外国語を使っても良いです。

堪忍袋の使い方

このゲージが MAX になると、オダノブがブチギレで **堪忍袋MAX** フェーズに移行します。

ゲージは、以下の状況で増減します。

- 逆鱗を口にした…………… + 10
- 外国語を喋った…………… + 5
- 家臣が質問した…………… + 1
- 回答が不正解だった…………… + 1
- 無礼者が！！…………… + 1
- 面白い！…………… - 1

判定

正解

オダノブから見て、問答の中で最も活躍していた家臣に、「ほうび」を渡しましょう。ゲームの終了です。

堪忍袋MAX

オダノブは「答え」と「逆鱗」を公開します。その後、家臣は「せーの」の掛け声とともに、判定カードの「本能寺」「是非もなし」のいずれかを表にして、場に出しましょう。

1人以上が「是非もなし」

→ オダノブの勝利となり、「ほうび」を手に入れます。



全員が「本能寺」

特に何もありませんが、家臣たちはスッキリします。



判定が終わればゲームの終了です。

上級者ルール

- 壹、誤答、外国語を言ったら以降の発言禁止
- 弐、「数字」を禁句
- 参、「代名詞」を禁句
- 四、「接続詞」を禁句
- 伍、「熟語」を禁句
- 六、「形容詞」を禁句



これでも物足りなかったら組み合わせて使おう！